

諫早市教育委員会議事録
令和6年第5回（4月定例）

令和6年第5回（4月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和6年4月24日（水）
16時00分～17時10分
- 2 場 所 諫早市役所 8階 会議室8-2
- 3 出席者 教育長 石部 邦昭
委 員 原田 裕介
委 員 山口 秀雄
委 員 中野 高子
委 員 小野 靖彦
- 4 会議に出席した事務職員
教育次長 石橋 芳秋
教育総務課長 新野 純子
学校教育課長 田上 顕二
生涯学習課長 竹島 健吾
- 5 議題
報告第5号 臨時代理の報告について（諫早市学校運営協議会委員の委嘱について）
報告第6号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）
議案第6号 諫早市教育支援委員会委員の委嘱について
議案第7号 令和7年度使用中学校教科用図書採択に関する基本方針等について

議事録署名人の指名

原田委員と小野委員を議事録署名人に指名

教育長職務代理者の指定

中野委員を教育長職務代理者に指定

議事の非公開

報告第5号、報告第6号及び議案第6号については人事案件であるため非公開

議事録の承認

令和6年第4回（3月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長の報告の要旨

《教育長の報告》

まず、教育大綱と第3期諫早市教育振興基本計画であるが、教育大綱は令和5年度から8年度までの4年間、第3期諫早市教育振興基本計画は令和5年度から令和9年度までの5年間、諫早市の教育のありようを定めたもので、それに基づき今年度も学校教育における4本柱を掲げている。「豊かな人間教育」、「確かな学力の充実」、

「ICT教育の推進」、「働き方・働きがい改革」の4つであり、校長会や副校長・教頭会でお願いをしたところである。

「豊かな人間教育」は、今、いじめや不登校対策は全国的に、また、本県、本市においても問題となっており、喫緊の課題ということで対策を推進していきたい。特に、挨拶・感謝・気遣いといったこと、子供のネット依存防止といったことについて進めていきたい。

次に、「確かな学力の充実」については、何といたっても授業の充実である。深い教材研究と研ぎ澄まされた授業を展開していくということで、学校教育課では課長以下指導主事から研究主任の研修に向けて、各学校における研究主任のありようや、授業のやり方等についてメッセージを録画し、DVDにして発信するという試みがなされている。

そして、「ICT教育の推進」であるが、デジタル教科書については、英語では小学校5年生、6年生、それから、中学校1年生から3年生までタブレットの中に入っている。算数・数学においても、小学校5年、6年、それと中学校で6割くらいはデジタル教科書が入っている。ICTを使った授業ということもよく言われているので、有効的に使っていく。ただし、全部をICTにするのではなく、ノートに書いたり、黒板に書いたりすることは非常に大事なことになるので、それをしながらもICTを使うところは使っていくということである。

タブレットは、全国的に導入されて今年で4年目になる。4年目になると、小学校4年生から6年生はずっと持ち上がって同じものを使っているが、小学校1年生から3年生、中学校1年生から3年生までは、お下がりという形になる。小学校で言うと6年生が使っていたものを1年生が使うようにしている。そうすると、タブレットも故障や破損が年々増えてきている。荒く扱っているというより、よく使っているために故障したものもあるので、全国的な話になると思うが、修理等も含めて更新についても十分備えていかなければならないと思っている。どんどん家庭学習にも使ってもらいたい。

働き方改革、働きがい改革になるが、特に教職員の働き方改革についてである。何でも削ればよいということではなく、教員として削ってはいけないこともあるので、何を削って何を残すかということも教育委員会で発信をしている。また、年休等を取りやすい体制であるとか、C4th（シーフォース）という便利なネットワークシステムを入れているので、教職員もそれらを積極的に使ってもらいたい。加えて、定時退校日ということで、これは全校に浸透しているけれども、1週間に1回定時に帰る日を設定するというところで

ある。そういう取組みをしてもらっている。

ただ教頭先生の働き方改革が課題である。戸締りも含めて何でも教頭先生のところにくる。これは学校だけではなく、教育委員会も市役所もそうなのだが、働き方改革について言われており、振替の完全実施、メリハリのある勤務、忙しい時は仕方がないので時間に余裕があるときは、思い切って休んだり早く帰ったりというようにメリハリが大事である。

学校教育の課題としては教員不足がある。この4月スタートには加配の先生を含めて何とか配置することができた。ところが、この後、例えば産休や育休、若しくは、病休の先生が出てきた時に、代替りの先生を見つけるのが非常に難しく、今後の課題である。

「部活動の地域移行」については、いろいろな面で今進んでいる。体育部では協議をしているところだけれども、特に進んでいるところでは、指導者の確保や指導体制をどうするのかといった話し合いをしているところもある。ただし、文化部の方はまだほとんど手がついておらず今からである。

3番目。児童生徒数であるが、今年の諫早市立小中学生は1万747人ということで、昨年と比べると113人減っている。小学校が7,269人で、昨年比114人減。そして、中学生が3,478人で、昨年よりも1人増えている。ちなみに、新入生は、小学生が1,187人で昨年比20人減。中学生が奇しくも小学生と同じ数字の1,187人で、昨年よりも39人増えている。

また、驚いたことに令和4年度の諫早市の出生数は906人。それから、令和5年度は787人。コロナの影響もあつたのかなとか思うけれども、この出生数がこのまま6年後、7年後といくとこの新入生の数になってしまう。従って、諫早市では今、盛んに工場の拡張や誘致、九州最大級の商業施設の開業などが進んでおり、雇用も1,000人から2,000人位と言われているので、いろいろなところから諫早に来てもらい、そして、諫早に家を建てて、諫早に住んで子育てをしてもらおう。そのキーポイントが、やはり教育になるのではないかと思う。「諫早で学んだら、諫早の教育は良かったよ」と言ってもらえるよう教育の充実を図り、先ほど4本柱についても話をしたが、「こういう教育をしていますので、どうぞ諫早に住んでください」というようなことでもしない限りは、出生者数を見たときに非常に厳しい数字だなという風を感じた。

4番目。スクールソーシャルワーカーを新たに雇用している。これは、諫早市が非常勤の会計年度職員として雇用した2人と、県派遣のスクールソーシャルワーカーが1人いるので3人体制になった。

よって、少年センターには毎日2人常駐していることになる。そのようにして各学校に対応していきたいと思うが、スクールソーシャルワーカーは、特に福祉の専門家として、問題を抱える児童生徒等が置かれた環境への働きかけや、関係機関へのネットワークの構築、連携、調整を行ってもらおう。学校に紹介するとともに、特に市雇用の2人については各学校を回ってもらっている。いじめとか不登校とかいうのは、学校だけではなく家庭も関係していて、家庭の中でも児童虐待などいろいろな要素があり、教員がその領域に入っていくのはなかなか難しい。しかし、スクールソーシャルワーカーであれば児童相談所や市の福祉の関係機関などと連携し、「この問題はこちらに任せた方がいいですよ」、「こういうふうにした方がいいですよ」というふうに動いてもらえるのではないかと期待しているところである。

今月の行事からということで、新規採用辞令伝達式を行った。今年度の教諭は小学校が25人、中学校が6人、養護教諭が1人。「伝達式」ではなく「辞令交付式」ではないのかと思われるかもしれないが、県費負担なので長崎県が辞令を渡す。昔は小・中・高・特別支援学校の新規採用者は講堂に集めて、県下全員1人ずつ渡していたけれども、今は全部で400人ぐらいになるので各市で辞令を渡している。辞令伝達式で最初に教育長からということで、「どうぞ思う存分やってください。そして、失敗はいいんですよ。失敗していろいろと学んでだんだん上手になる。だから、若いということはそれだけの魅力もあるので、思い切って頑張ってください」と、新規採用の人たちに話をした。

始業式は8日に幼稚園、小中学校同じ日に行われた。そして、入園式は11日。実は、幼稚園は入園したのは3歳児が2人である。全幼稚園児は17人ということになる。昨年が32人であった。半減したような感じであるが、これをどういうふうに見るのか。今後の見通しが必要である。ただ、途中から入園する方もいるので、これが1番底で、もう少し増えるだろうというふうに思っている。そして、入学式は小学校10日、中学校9日。諫早つつじまつりは13日から14日好天に恵まれ諫早公園で行われた。諫早つつじ祭りは私も少し覗いてみたが、大変な人手で賑わっていた。

都市教育長協議会が、18日、19日に長崎市で行われた。実は、この都市教育長会議は、全国規模の会議が来月行われ、5月8日が前夜祭で、9日、10日と長崎市の出島メッセで行われる。全国から教育長が参加する会議で565人が参加すると聞いている。長崎県の都市教育長がおもてなしの気持ちで全国の教育長を迎えて、有

意義な会になるよう準備をしていきたいと思う。都市教育長会議の2日目19日は、長崎スタジアムシティの視察だった。ジャパネットが進めているホテル、競技場などのいろいろな施設で、今、工事を行っており、大体8割がた完成したみたいなこと言われていた。工事現場は見ることはできず、隣の仮設の事務所で説明を受けた。この辺にはないすごい施設を研修で視察することができた。

次に、18日に図書館職員の研修会があった。諫早の図書館は九州でもトップクラスの図書館だと思っているが、研修会でいろいろな試みをされたと聞いている。19日は市長と語る会で、ボランティアグループの方々と市長が、図書館の今後のありようであるとか試みであるとかいろいろな話をされた。

それから、全国学力調査学習状況調査が18日に行われた。どういう科目があったかということ、小学校6年生は国語と算数。中学校3年生は国語と数学。同じ日に、小学校5年生は国語と算数で、県の学力調査。中学校2年生は国語と数学で同じ日にあっている。小学校6年生は国語と算数と言ったが、それに加えて理科も県の単独でしている。小学校6年生は、当日国語、算数、理科を受けており、中学生は、国語と数学を18日に受けて翌日19日に英語を受けている。学力向上ということでいろいろな手立てをしていただいているので、一定の成果が出るのではないかと期待しているところである。

そして、本日、長崎県市町村教育委員会連絡協議会が佐世保市役所であり、私と中野委員が出席をしてきた。本日は理事会だったので、皆さんに今度参加いただく5月下旬の総会に向けての諸準備ということで、役員の変更や予算について話し合われたところである。

また、中堅教員資質向上研修が26日に予定されている。これは、諫早、大村の教員で、採用されてから11年目の中堅教員を対象とした研修であり、諫早は小学校10人、中学校5人。大村は小学校8人、中学校1人の9人である。要するに10年経っての研修で、私の今までの経験から言うと、10年経つと教員も大分技量差がついている。一生懸命10年間頑張った人とそれなりの人がいるので、できるだけ底上げをして、また、良い先生にはいろいろな仕掛けをしていく。教員も資質向上をしていかないと駄目なので、その手立てをしていくということで、諫早が今年は担当になっている。

最後に、27日土曜日に発明クラブの開講式があった。これは毎年1年間3月まで毎月している。私は開講式で下村脩先生の土壌があるので、未来のノーベル賞目指して頑張れというような挨拶をしようと思っているけれども、子供たちの資質を向上させる良い試み

じゃないかと思って期待をしているところである。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

確かな学力の充実のところ、教員不足という問題点が出てきているが、以前、小学校に専科の先生の導入というのが望まれたと思う。教員不足の問題があるかと思うが、今回どうだったか。

[学校教育課長]

小学校は学級担任であるとか、全教科を行うということで数が少なかつたのではないかと思う。ただ、英語に関しては、専科が複数名配置されていると認識している。

[教育長]

英語に関しては、今回ALTのコーディネーターを入れている。ALTもどういう授業をすればいいかみたいなどころもあるので、一緒に勉強していく。非常に長けた方が入っているので、期待をしている。

[委員]

FAXが学校からなくなるというような話を聞いたが、今使っているのか。

[学校教育課長]

使っているところもあると思うが、徐々にFAXは使わないというふうになっていくと思う。

[委員]

諫早では登校時間が結構早くなっている。福岡では7時50分になると校門が開いているようだ。最近テレビで、保育園は早く行けるけど学校は8時にならないと校門が開かないので、親が仕事をやめないといけないというような話があって、都会は遅くて諫早は結構早い。働き方改革からいくと、学校を早く開けるということは、先生たちも早く行かないといけない。そこを諫早ではどのようにクリアしているのか。

基本的に、私は子供の睡眠時間を考えると今の諫早の登校時間は早すぎると思っていて、「早寝早起き」の早寝ができていれば早起きでいいけれど、早寝ができていないのに早起きを強制して睡眠時間を短くしているのではないかと常々思っていたので、どうなっているのか教えていただきたい。

[学校教育課長]

どうしても保護者が早く仕事に出ていかなければならず、家に子どもを1人置いておくわけにはいかないので、7時過ぎに登校をさ

せたいという家庭があった。ただし、おっしゃるようには受け入れる教員が必要になるので、その調整は難しいかなと思う。一般的には、何時以降に登校してくださいということで、保護者の方には周知されていると思う。

[委員]

学校教育の課題ということで、教員不足と定年延長問題とあるけれども、教員不足というのはなり手不足などで人手が足りないというのはわかるが、定年延長問題というのは、具体的にどういった問題があるのか。

[教育長]

今までは60歳定年制であった。それが1年ずつ伸びていっている。今年の3月に辞められる方は、本当は61歳が定年である。だから、61歳まで働くことになり、60歳の方はもう少し頑張っていたところがあるけれども60歳で辞められた方もいる。それは、定年退職ではなく普通退職になる。

[委員]

60歳でも辞められるので、それでまた不足になるのか。

[教育長]

本人の意思によって辞められる。できれば続けてもらいたいが、いろいろな理由があるからなかなかそれは難しい。これは市役所なども一緒に61歳、62歳と定年が伸びる。だから、部長などの役職をしている職員は、60歳になったら役職定年ということで一般職になることになる。

[委員]

校長先生もそうなのか。

[教育長]

校長先生もそうなる。県立高校、特別支援学校含めて全部そうであるが、今回教員不足ということもあって小学校、中学校の何人かは校長のまま残っている。県下全体では12名いる。ただし、給料は他の定年延長の人と同じように7割になる。それでも校長をするという人もいれば、給料が下がってまでしなくてもよいという人もいるということである。

[委員]

タブレットは何年ぐらいで更新するつもりだったのか。

[学校教育課長]

更新についてはそろそろであるが、導入したのが令和4年になる。今、国が予算等で、GIGAスクール構想を支えていくということで、タブレットに関しての予算措置が議論されている。その動向を

見て、買い替え、もしくは、一部を変えるということになるのかな
と思っている。

[委員]

4年計画で変わるということか。

[教育長]

最初はもう少しもつのではないかということであったが、なかなか難しい。諫早市は、現在キーボードが付いたものである。他にも、例えばiPadなどもあるので、故障率の低さなどどれがいいのかということも今後検討したいと思っている。

[委員]

タブレット端末の故障、破損について、まず故障に関してなのだが、故障した時に代わりの新しい端末がすぐ使えるのかということもそういうわけにもいかないのではないかと思うので、その時に手元にタブレットがない子供たちの学習が滞ったりすることはないのか。

そして、破損に関しては、先ほど予算の話もでていたが、諫早市では破損に対して十分に予算措置はしているのか。また、原因は落下が一番多いということだけれども、その責任の所在については、どこまでが保護者の責任であり、どこまでが学校の責任であるのかということの線引きはどのようにされているのか。

[学校教育課長]

今のところ不足しているということはない。なお、ある程度の数を買うように本年度予算化しており、もし故障で修理できない時はそれからあてるように準備をしている。また、パソコンに堪能な職員が、故障したものを学校から受け取り、使える部品を移し替えるなどの対応もしている。それでも、長くは使えないかもしれないので、今後国の動向を見ながら抜本的に対応ができるよう進めていきたいと思っている。

破損については、各学校でどのようにして破損したかというのを確認してもらい判断をしている。こういうことをしたら壊れるということ各各学校で指導しているので、それを逸脱するような行動で壊したのであれば、故意にということ判断をしている。

[委員]

その場合は弁償ということになるのか。

[学校教育課長]

そういう事例もある。なお、PTA等の保険にはその補償もついていたりするので、そうなれば費用は保険から出ることになる。そうでない場合は手出しになる。

《議題》

議案第7号 令和7年度使用中学校教科用図書採択に関する基本方針等について

学校教育課長 説明

質問・意見なし

可決

《学校教育課長からの報告》

- 1 令和6年度 諫早市学級編制児童生徒数について
- 2 令和6年度 諫早市小学校・中学校運動会実施予定について

《学校教育課長の報告に対する質問・意見》

[委員]

(ほとんどの学校の運動会の実施時期が5月になっていることに関して) 熱中症などが関係しているのか。それとも、早めに大会をやった方が教育上よろしいということか。

[学校教育課長]

熱中症予防等様々な理由があるとは思いますが、日程が揃ってくる理由は、小体連や中総体などの大会があるので、この日しかないというふうになっているのではないかと思う。ただ、9月とか10月に行うところで、特に真崎小学校は10月20日と遅い日程になるけれども、熱中症予防も考慮してというふうに聞いている。

《非公開議事》

報告第5号 臨時代理の報告について（諫早市学校運営協議会委員の委嘱について）

学校教育課長 説明

削除

了承

報告第6号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）

生涯学習課長 説明

削除

了承

議案第 6 号 諫早市教育支援委員会委員の委嘱について
学校教育課長 説明
削除
了承

その他

学校教育課長
令和 6 年度新任校長校訪問の計画について

教育総務課長
1 5 月定例会教育委員会の日程について説明
2 長崎県市町村教育委員会連絡協議会理総会及び県市町教育委員
会合同研修会について説明

17 時 10 分閉会